

第1章 調査の概要

1. 調査目的

南和地域では住民がいつまでも元気に暮らせること、また、医療や介護が必要となっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最期まで続けられるよう、平成26年度より多職種協働による支援体制の構築及び充実強化を進めている。

「在宅医療」をテーマとし、課題を抽出、対策検討を行うため平成27年度、令和元年度に引き続き本調査を実施した。

今回調査によって5年ごとの成果・変化を評価し、南和地域の実情に応じた対策を検討する基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査設計

- ①対象施設：171 か所 吉野保健所管内（五條市、吉野郡）の診療所、病院、歯科診療所、在宅患者訪問薬剤管理指導薬局、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター
- ②調査期間：令和5年7月1日～7月31日
- ③調査方法：アンケート用紙と返信用封筒を郵送し回収

3. 調査項目

事業所概要、在宅医療等に関する評価・問題点、在宅医療等の実施状況、在宅医療対応可能地域、連携機関、自由意見など対象機関により項目を変更し実施した。

4. 対象機関及び回収率

対象機関名	対象機関数	回答数	回収率(%)
1. 診療所	48	47	97.9
2. 病院	4	4	100.0
3. 歯科診療所	33	33	100.0
4. 在宅患者訪問薬剤管理指導薬局	22	22	100.0
5. 居宅介護支援事業所 ※	45	44	97.8
6. 訪問看護ステーション	7	7	100.0
7. 地域包括支援センター	12	12	100.0
合計	171	169	98.8

※居宅介護支援事業所は事業所単位その他、それに属する介護支援専門員（ケアマネジャー）81名の個別回答を得た。

5. 報告書の見方

- ①集計表の数表は、上段が件数で下段が割合（単位：％）を示す（数値回答を除く）。
- ②集計結果の割合はすべて小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100.0％にならないことがある。
- ③複数回答が可能な設問の場合、選択肢の合計が100.0％を超えることがある。
- ④図表中の「n数」はその質問に対する回答件数を表し、「合計」は人数の合計数を指す。